

## 2022年度事業計画

自2022年4月1日  
至2023年3月31日

一般財団法人台湾協会(以下「当協会」という)は、日台間の親善と学術・文化の交流を積極的に推進し、会員および台湾関係者の交流親善・相互理解・共栄を図るべく、下記の事業を推進する。また事業推進にあたって、「協会改革の方向性」を理事全員で確認する。

### ◆台湾協会改革の方向性

- 1) 協会設立の趣旨に則した長期的な事業の在り方を模索する。
- 2) 当面の経済環境にあった事業再構築を図る。

## 記

### 1. 台湾関係物故者慰霊法要の催行事業

- (1) 築地本願寺での台湾関係邦人物故者追悼法要  
10月1日(土) 築地本願寺にて台湾関係邦人物故者追悼法要を斎行する。
- (2) 台湾出身戦没者慰霊法要  
5月28日(土) 東京台湾の会、日本李登輝友の会との共催で、奥多摩台湾出身戦没者慰霊碑・慰霊塔前で慰霊法要を斎行する。
- (3) 台湾での邦人物故者慰霊祭  
11月中旬に台湾日本人会が主催する邦人物故者慰霊祭に遺族代表の立場で参列する。
- (4) バシー海峡慰霊祭  
11月下旬にバシー海峡戦没者慰霊祭実行委員会が主催し、台湾協会が潮音寺管理委員会と共催するバシー海峡慰霊祭に参加する。
- (5) 8月15日(月) 全国および東京都戦没者追悼式への参加

### 2. 台湾関係重要図書・資料の収集・活用事業および協会目的達成のための活動

- (1) 台湾関係図書、地図、写真等諸資料の充実を図り、一般研究者および会員の活用の利便性向上に努める。
- (2) 会報  
会員相互の連携媒体である「台湾協会報」を定期的に発行し、会員間のコミュニケーション増進及び関係先との連携強化を促進する。
- (3) 情報発信強化  
協会の継続運営に必要な若手会員の増加に繋げるべく、Facebook等による情報発信を強化する。

### 3. 日台間の相互理解の促進

(1) 講演会の開催

台湾に関する講演会を主催、開催する。

(2) 「交礼台湾の会」の開催

「交礼台湾の会」を4月29日(金・祭日)に東京で開催する。

(3) 台北駐日経済文化代表處や公益財団法人日本台湾交流協会との連携・交流

これらを通じて日台相互理解の促進に努める。

(4) 各地台湾の会との交流・活動確認

(5) 学術及び文化の振興

① 学会活動の支援

日本台湾学会、天理台湾学会などの活動を支援する。

② 日本文化の紹介

台湾関連イベント等を通じて、日本文化の紹介を支援する。

更に、2022年度は熊本で開催されるアジア・太平洋水サミットで台北駐日経済文化代表處の活動(鳥井信平の紹介)の支援を行う。

(6) 青少年の健全な育成

台北駐日経済文化代表處や友好団体と協力し、台湾留学生と台湾に関心を持つ日本人学生との交流会を実施し、相互理解の促進に努める。

以上